

【放送大学千葉学習センター／インタビュー】 人間の「知りたい」を満たしてくれる教育機関、それが放送大学。



放送大学 客員教授／山本 純ノ介氏

今回お話を伺った山本純ノ介氏は、客員教授として2019年から放送大学千葉学習センターで教鞭をとる。作曲家、教育者というふたつの肩書を持つ山本氏の経歴を振り返りながら、放送大学の魅力や学ぶことの意義を教えてください。

音楽一家に生まれ、3歳からピアノの手ほどきを受ける

「僕が初めて音楽に触れたのは3歳の時です。おじさんの元でピアノや作曲の基礎である音符やト音記号の書き方などを教わっていました」。自身の原点について、時折身振りを混ぜながら穏やかな口調で語る山本純ノ介氏。1958年に作曲家・山本直純の長男として生まれ、幼少期には大正昭和期に作曲家として活躍した祖父・山本直忠や母・正美からピアノの手ほどきを受けた。父親の音楽仲間であったマリimbaの名手・杉山園子からはマリimbaの奏法や音符の書き方を教わりながら、次第に歌やピアノの作曲に挑戦するように。「ピアノに始めて、マリimbaで打楽器の面白さを知り、小学5年の頃にはクラシックギターで様々なコードネームを覚えました」。

山本氏が中学生になった1970年といえば、世間ではフォークソングが大流行していた時代。「自分で詞を書いたり曲を作ったりしていたものですから、友達が聞いていたシンガーソングライターと呼ばれ人気を集めていた吉田拓郎や泉谷しげるのテープを友達に聞かされるようになりました」。

クラシックにはない雰囲気がちよっと気になる存在でした」。世界の民族音楽にも興味があった当時、山本少年の夢は音楽ジャーナリストになることだった。「兼高かおるさんみたいに世界を飛び回って、各国の文化や音楽を見聞していくような。文化人類学の延長線にありながら、いろんな民族音楽を調べていくジャーナリスト・研究者になりたいなと、漠然と思っていた」。



15歳の春、音楽の道で生きていくと決意

山本氏の音楽人生を決定づけたのは、高校の同級生だった奥様の影響が大きかったと言います。「小さい頃からピアノをやってきた僕から見ても、彼女の腕前は異次元の上手さでした。演奏スキルが相当求められる『黒鍵のエチュード』をさらりと弾いてしまうのですよ。ピアノじゃあとても彼女にかなわない。ならば作曲の腕を磨こうと決意して母に『真面目に作曲を学びたい』と相談しました」。

山本氏の母・正美は現代音楽の作曲家であり、上皇后美智子様が高校時代にお書きになった詩をもとにした「ねむの木の子守歌」の作曲を担当したことで知られる。母の紹介で長谷川良夫先生に師事し作曲家への道を歩き出す、ここで大きな問題に直面することになる。「小学生の頃から作曲は好きで自信があったのですが…長谷川先生とお会いし、曲を見てもらい、ピアノを聴いてもらおうと『君の作曲スタイルは我流が強い』と言われてしまって（苦笑）。受験のためには基礎からやり直すことになりました」。

長谷川先生に紹介された作曲家の北村昭先生からは和声に始まりフーガやソナタといった作曲技法を学び、1977年に東京藝術大学音楽学部作曲科へ入学。2年で小林秀雄先生に出会いもともと好きだった合唱音楽の美しさを再認識しました。また3年時から修士修了まで松村禎三先生に師事して交響曲の作曲を志すようになりました。ふりかえてみると「音楽で生きていく上で僕に足りなかった部分を長谷川先生や北村先生にみっちり補正してもらえたわけです。ちぐはぐだった知識が高校時代できちんと整理された。松村禎三先生の教えからは、『作曲とは何か』を自ら考えるようになりました。松村先生の交響曲を聴いて『これほどまでに心を打たれる現代曲があるのか』と感銘を受け、自分も交響曲を書こう」と思いました。



作曲家として、教育者として駆け抜けた40年

80～90年代にかけて数々の作品を世に送り出し、91年には自身2曲目となる交響曲「法顕伝交響曲」がシルクロード管弦楽国際コンクールの優秀賞を受賞するなど、作曲家として順調なキャリアを築いていった山本氏。それと同時に、長年にわたって多くの学生を育ててきた教育者でもある。修士課程2年目から尚美学園短大の非常勤となり、週7コマの授業を担当。修士を3年かけて修了後、上野学園短大や日本映画学校と教育現場を経験し、千葉大学の助教授を母校藝大非常勤講師兼任で務めました。はじめ教育者になった理由を「父と母、それから弟も音楽家。山本家にはまともにサラリーを稼ぐ人間がいなかったから」と冗談めいて語るが、実のところ「昔から人に教えるのが好きなのです。生徒さんの個性や特性に合わせて教えていくと、思わぬところで音楽の才能が開いていってね。そういった過程に立ち会えるのも嬉しいですからね」。

その後50歳で千葉大学教授に。「大学の教員になるまでは作曲と指揮を主にやってきましたから、教育畑の知り合いが少なかったです。千葉大学が縁で知り合った宮野モモ子先生(千葉大学教育学部名誉教授、放送大学千葉学習センター前所長)にはとてもお世話になりました。僕が放送大学にやって来たのも、宮野先生が2017～2019年に放送大学で第九交響曲イベントを開かれる際にご縁をいただいていた。あの時は妻にもピアノ演奏を手伝ってもらいました」。



学びを通じて知らなかった世界が見えてくる

40年にわたり教育現場に携わってきた山本氏に学ぶ事の意味を伺った。即座に返ってきた言葉は「放送大学学歌の歌詞にあります」。「生きるとはまなぶこと、まなぶのはたのしみ」「生きるとは知ること、知るとはよろこび」。「学ぶという事は知ることです。知りたい知りたいという欲求が学ぶ心を育むのだと思っています」。自身も幼少期からクラシックや現代音楽に囲まれ、中学でフォークソングやジャズに興味を持ち、それらの理論を学んできた。「音楽の世界では「遊び」も重要です。理論やメソッドを学んで型を会得したら、今度は型を破っていくという意味の。遊ぶためにしっかりと学ぶ。そして学んでいくと、知らなかった世界が見えてきて興味湧いてきて、また新たな学びが始まるものです」。

音楽は自分の思いを音に乗せて伝える事。音楽を始めるのに年齢は関係ないと断言する山本氏の考えは、広い世代に門戸を開いている放送大学の教育理念と相通じる。65歳になった現在も毎日が学びと話す山本氏の次の目標は「死ぬまでにもう一度交響曲を作りたいですね」と笑顔で答えてくれた。



＜プロフィール＞

山本 純ノ介／やまもと・じゅんのすけ
1958年、東京都出身。1984年、東京藝術大学大学院音楽研究科修士課程を修了。作曲家であり指揮者の山本直純の長男として生まれ、幼少期から作曲を続ける。20代の頃から教育者としても活躍。千葉大学教育学部教授。

(文 吉岡啓雄)

サークル活動(学生団体)に参加しよう

千葉学習センターでは、心理学、音楽、古典文学、語学、スポーツ、美術などをテーマに多くのサークルが活動しています。

通信制大学の学習は孤独になりがちといわれますが、サークル活動に参加して共に学ぶ仲間を見つけませんか。

(裏面参照)

面接授業 実施時間

1時限 9:50～11:20
2時限 11:35～13:05
3時限 14:05～15:35
4時限 15:50～17:20



心理学
Psychology

カウンセリング研究会

〈大学公認団体〉

内容：毎月の定例会ごと、単発のテーマを設定し学習。机上の学習だけでなく、演習を重視。また不定期で展覧会等の見学、座禅等の体験学習機会を設けている 活動日：毎月1回日曜日14:00~17:00 会員数：15名程度 会費：年会費無し 連絡先：福森 happyforest21c@gmail.com



心理臨床研修会

〈大学公認団体〉

内容：創作コラージュ療法を中心に毎月定例研修会を開催し心理学の学びを深める一方、卒業まで仲間と語り合い楽しく学ぶ場を提供。ぜひ一度一緒に体験を！ 活動日：毎月第2日曜日及び第4土曜日に研修会 日曜日10:00~16:00 土曜日9:30~16:30 会員数：約50名 会費：研修会区分に応じた額 連絡先：岡村 090-3475-7241 FAX 050-3586-8773 t-okamura@dream.jp



音楽 Music



サークル紹介

アンサンブル倶楽部

内容：千葉学習センターラウンジにて年数回ランチコンサート。使用楽器リコーダー(ソプラノ、アルト、テナー)フルート、ピアノ、バイオリン等 活動日：月2回(平日又は週末) 会員数：10名 会費：なし 連絡先 高橋:080-5009-2400

千葉合唱サークル(混声合唱)

〈大学公認団体〉 内容：“響きとハーモニー”、みんなが楽しく、そしてお聴きいただく方々とも感動を共有できる合唱を目指しています。一緒に歌ってみませんか。活動日：毎月第1、3日曜日 13:00~15:30 会費：2500円/月 連絡先：sakuma1146@nifty.com HP: 放送大学千葉合唱サークルで検索。

放送大学軽音楽

〈大学公認団体〉 内容：毎月2日間セミナーハウス研修室、千葉学習センター講義室、千葉市コミュニティセンター等で練習をして、千葉学習センター秋祭り等で発表をしている 活動日：毎月第1日曜日と適宜土曜日、日曜日、祝日の内の1日 12:00~18:00頃 会員数：12名 会費：半期2,000円 連絡先：岡 oksunpiano@yahoo.co.jp 090-9366-7834



外国文化
Foreign Culture

スペイン語友の会

〈大学公認団体〉

内容：毎月の例会では、スペイン語圏の歴史・文化をもっと知るため、柳沼先生(神田外大・元副学長)による語学専攻学生用テキストを用いた特別講義を行っています。活動日：毎月第2火曜日13:00~16:00 会員数：15名程度 会費：入会金：2,000円、参加費：1回1500円 連絡先：末富 080-4095-5735 qui.suetomi@gmail.com



千葉学サイエンスカフェ

内容：がん・糖尿病などの健康・病気、地球温暖化、インターネット、人類の起源、コロナ、地政学、デザインなど、サイエンス全般なんでもOK、逸脱もOK。参加者が自分のテーマを話してわいわい議論して交流するサークル。最近Webサークルを実施中。活動日：毎月第3水曜日13:30~16:30、現在はSkypeによるWebサークルを実施中 会員数：14名 年会費：1,000円 連絡先：伊草 igs.oowada1121@ae.auone-net.jp



古典 Classic



古文書を読む会

〈大学公認団体〉

内容：近世の武士日記を題材に古文書講読を行います。文章内容が率直で面白く挿絵も楽しめ又歴史資料としても貴重なものです。他に「江戸歩き」日記の現場検証や日記を書いた武士の地元調査などを行います。写真は神楽坂から四谷見付までを探訪した際のものです 活動日：毎月2回(第一・第三火曜日)に講読会 月1回(適時)に「初心者会」など 会員数：約20名 会費：入会金1,000円 会費4,000円/年 連絡先：野口 090-1464-4501 akira.noguti@honey.ocn.ne.jp

コミュニティ Community

放送大学千葉同窓会

〈大学公認団体〉

内容：①通常総会 ②研修・親睦小旅行 ③卒業研究・修士論文発表会 ④語ろう会 ⑤会報発行 ⑥放送大学叢書販売・バッジ販売 ⑦同窓会連合会事業へ年間通じて参加・協力 活動日：第2火曜日(変更もあり) 10:00~12:00 会員数：1,049名 会費：①卒業生会員(終会費12,000円) ②特別会員(センター職員、職員OB 終会費12,000円) ③在学生会員(初年度2,000円入金→終会費12,000円まで次年度から1,000円×10回払) 連絡先：小滝 047-339-9325

海洋クラブ

〈大学公認団体〉 内容：海の楽しさを紹介します。クルージング、SUP、海釣り、料理教室、南房総マリーナ宿泊、勉強会等 活動日はそのつどLINEに掲載してお知らせいたします。 会員数：10名(内女性2名) 会費：1,000円/年 活動によって別費用あり 連絡先：木下 tesshu73@gmail.com



シニアライフ研究会

〈大学公認団体〉

内容：毎回担当会員が1時間前後のプレゼン、その後白熱の討論(古今東西、森羅万象を議論する楽しく愉快で有益な会)他に経済研究会など分科会開催 活動日：毎月第1金曜日 10:00~16:00 会員数：11名 会費：3,000円/年 連絡先：野上 hnogami@cure.ocn.ne.jp

囲碁クラブ

〈大学公認団体〉 内容：対局を主体とし初心者には個別に指導 活動日：毎週木曜日 会員数：21名 会費：年会費1,000円入会金1,000円 連絡先：桑原 masatkuw@mtj.biglobe.ne.jp



千葉コンピュータユーザーズ

〈大学公認団体〉

内容：パソコンの知識と操作技術の向上を目指し、日々努力と研鑽を積んでおり、パソコンを通じ充実した時間を楽しむと共に会員相互の親睦をはかること 活動日：月2~3回(13:30~15:30) 会員数：12名 会費：年間6,000円(6ヶ月3,000円) 連絡先：中込 043-278-5126 y-nakagome@rose.plala.or.jp

美術 Art

書道クラブ 翠乃会

内容：活動目的：書道の研鑽を通じて書への理解を深め、会員相互の親睦を図る。活動内容：書の修練(楷書、行書、草書)中国の書跡・日中書道史の研究(臨書) 活動日：原則、毎月第1火曜日10:00~12:00 会員数：11名 会費：三か月分 5,500円(教材費込み) 連絡先：大川内 nana10o3po@yahoo.co.jp



若葉スケッチ会

〈大学公認団体〉 内容：野外に出掛けて、水彩画のスケッチを楽しみ、作品は、千葉学習センターに展示しています。年1回合宿旅行(2泊3日)でパワーアップ 活動日：毎月第1金曜日10:00~16:00頃 会員数：20名(うち女性11名) 会費：年会費1,000円 連絡先：石田 047-454-7304 yuchy_ishida@yahoo.co.jp

木彫会

内容：木彫による仏像づくりをしています。日々のうつろいの中である日ふつと仏像を作りたいと思ったことはありませんか？ある女性の活動歴は4年目です 会員数：7名 会費：なし 連絡先：田中 090-8841-5700 ohta2@jcom.zaq.ne.jp



美術 Art